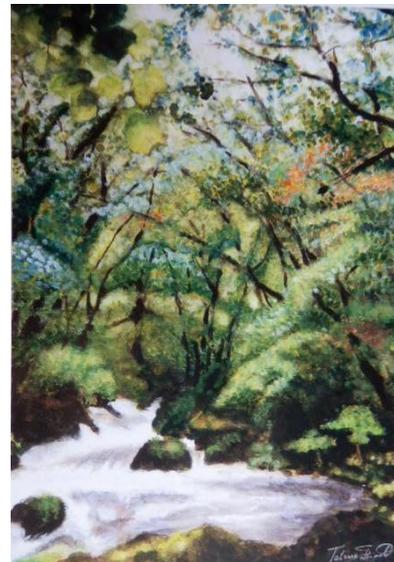


学長のコラム

18 歳からの選挙権

7 月 10 日（日）に実施された参議院選挙から、選挙権者の年齢が今までの 20 歳以上から 18 歳以上となった。主に、高校 3 年生、大学 1、2 年生が初めて参加する国政選挙ということで、高校での指導がマスコミでも取りざたされたが、本学でも、何らかの啓発のアナウンスが必要であろうと考えて、学務課長にお願いして、投票方法等を説明するポスターを作成し掲示していただいた。住民票を移していない他県からの学生は、下宿に留まっていると、投票整理券（はがき）も届かないし、何もしないうちに、過ぎてしまうことに気付いたからである。・・・と同時に、学生の反応がわからないので、学生のお世話をよくしていただいている学務課の坂元さんに、機会があれば、学生の様子を聞いてほしいと言っておいたところ、学友会の集まりで、それとなく聞いてみてくれた結果を報告いただいた。それによると、79 人中、「選挙に行く」と答えた人が 32 人（40.5%）、「行かない」と答えた人が 24 人（30.4%）、「わからない」と答えた人が 23 人（29.1%）であった。最近の新聞の報道によると、18 歳、19 歳の投票率の熊本県の平均は、39.70%（全国 34 位、1 位の東京は 57.8%）であり、本学はこれを上回った可能性がある。また、同年齢の全国平均は 46.78%（全世代では、54.7%）とのことである。本学の 79 人の学生の場合、46.78%は 37 人になるので、わからないと答えた 23 人の内 5 人が投票に行くと仮定すると、全国平均並みということになるので、少し、安堵したところである。さらに、9 月になって、「18 歳以上を成人とする法案を来年度提出の運び」とのニュースが流れた。当然の成り行きかもしれないが、臨地実習に向けて、挨拶やマナーなどを細かく指導せねばならない、また、保護者離れしていない本学の 1 年生の実情とのギャップを見聞きすると、とても当然とも言えない。18 才成人となれば、学生としての甘えは許されないので、法的には対応がし易くなると考えてよいのであろうが、・・・。



9 月・10 月の主な行事予定

9 月 5 日（月）	合同中堅職員研修（事務）（～6 日）
7 日（水）	合同中堅職員フォローアップ研修（事務）
10 日（土）	言語 2・4 年対象 保護者会、事務職員採用 1 次選考
23 日（金）	後期ガイダンス
24 日（土）	医検 3 年、理学 2 年、生活 3・4 年対象 保護者会 事務管理職員 2 次選考
26 日（月）	学校法人银杏学園理事会、後期授業開始 崇城大学第 1 回 FD 講演会（会場：崇城大学）
28 日（水）	9 月次卒業式、リハビリテーション学科合同就職説明会 第 1 回相互授業参観（ピアレビュー）
10 月 2 日（日）	大学コンソーシアム熊本主催・合同学園祭（会場：本学）
12 日（水）	学術講演会「疼痛研究の最前線」九州大学 井上和秀教授
15 日（土）	第 40 回杏祭
19 日（水）	動物慰霊祭、文科省高等教育局 吉光紗綾子氏講演会
23 日（日）	熊本県高等学校生徒理科研究発表会（会場：本学）
24 日（月）	平成 29 年度科研費申請書学内締切

*

*

第 1 回 FD セミナー

8 月 29 日（月）に九州大学基幹教育院人文社会科部門の田中真理教授を講師にお迎えし、2016 年度第 1 回 FD セミナーを開催しました。

田中教授は発達障害分野を専門に研究されており、様々な講演活動を精力的に行っていらっしゃいます。

FD セミナーでは「大学における発達障害学生支援」をテーマに、様々な視点から合理的配慮の考え方についてご講演いただきました。可視化しにくい障害区分に対する理解が必要なこと、相談者の背景にあるものを読み取る力が求められること、相談すること自体への支援が必要なことなど、教職員一人一人が取り組むべきたくさん課題を提示いただきました。

平成 28 年度から障害者差別解消法が施行され、合理的配慮が善意ではなく義務になっています。全ての学生が教育を受ける機会を均等に得る権利を持ちます。FD セミナーで提示された課題解決を本学の教育の充実・強化に向けた取り組みとして活かしていきたいと感じます。

※大学間連携事業として他大学にも参加を呼び掛け、崇城大



学から 20 名、その他九州内各大学から 8 名の先生方にも参加いただきました。（文責：佐藤学務課長）

第1回SD研修会

8月24日(水)に第1回SD研修会をキャンパステラスにおいて実施しました。「教育改革の動きと教職協働の一端を担う事務職員の役割について」というテーマで、(1) 本学における、教育改革推進会議の組織と大学改革の動きについて、(2) 3つのポリシーに基づく本学の取組の自己点検・評価と内部質保障について、(3) 学生指導に関する事務職員の役割について(交通マナー、SNSの利用マナー)、(4) 補助金の申請と獲得に関する事務職員の役割

についてそれぞれ研修を受けました。

事務職員の参加率も高く、とても活気のある研修会になりました。



情報セキュリティ・個人情報保護委員会合同研修会

8月25日(木)に「情報セキュリティ・個人情報保護委員会合同研修会」を開催し、78名の教職員が参加しました。本学の情報セキュリティアドバイザーでもある熊本大学の菊池健先生より、「個人情報保護法改正、マイナンバー制度、標的サイバー攻撃」等に関して盛りだくさん且つ丁寧な解説を頂戴しました。個人への問題提起であると同時に、本学の今後の取組みへの意義ある指針と受け止めました。後期にも同様の研修会を開催しますので、とりわけ今回未受講の方は奮ってご参加ください。

(文責：齊藤法人局長)



大学コンソーシアム熊本主催職員研修

大学コンソーシアム熊本主催で、8月30日(火)～31日(水)に主任・管理職研修、9月5日(月)～6日(火)に合同中堅職員研修、9月7日(水)に合同中堅職員フォローアップ研修を本学のキャンパステラスにおいて実施しました。熊本県内の他大学の

職員と研修を行うことで、交流の場としても大変良い機会になったのではないのでしょうか。



保護者会

平成28年9月10日(土)本学にてリハビリテーション学科言語聴覚学専攻2・4年生の保護者会を開催いたしました。当日は学長による大学概要説明、担当教員による実習・就職・国家試験に関する説明、SG担任との個別面談などを行いました。これから国家試験合格と就職内定獲得を目指す4年生、実習を有意義にする2年生、それぞれ大きな

目標に向かって安心して臨めるよう、保護者の皆さまと一緒にサポートして行きたいと思っております。(文責：就職支援センター)



私の秘話ヒストリー

今回は看護学科 井上加奈子助教に投稿していただきました。

私は中学、高校、大学と剣道部でした。身内の影響もあって昔から剣道には興味があり、実際に剣道部に入部したのは中学生のとき。中学の剣道部は男子部員が少なかったため、女子も男子の試合によく出ていました。剣道初心者、なおかつ女ということで、私と組む相手(男子)はものすごくやりにくかっただろうな、と同情します。中学時代の稽古は本当にキツかった…1000本素振りに真夏の連続かかり稽古、真冬の寒稽古…それでも根を上げなかったのは、強くなりたという気持ちと、やっぱり剣道の面白さがそこにあったからだと思います。中学～大学と剣道部に所属しましたが、大学の剣道部が一番楽しかった～！九州各地、西日本各地を遠征し、仲間もたくさんできました。島根への遠征途中に高速で車から煙が出てきて(オーバーヒートしていた)、先輩の愛車が廃車になってしまったことも、真夏の遠征の帰りにクタクタになった身体で青春18切符を利用し、電車を乗り継ぎ、死ぬ思いでディズニーランドに行ったのに、部員全員熱発して夢の国を楽しめなかったことも、振り返るといい思い出です。だいぶん無茶苦茶なこともしましたが、痛い目に合ったからこそ学んだことも多かった。剣道は、私に大切な仲間と、折れない心、そして自分を信じるということを授けてくれました。やっぱりスポーツっていいな、とオリンピックや甲子園を見ながら、改めて感じた夏の終わりでした。

(文責：井上助教)

ねずみ返し



ねずみ返しを御存知ですか。ねずみが飛び越えられないような板(ハードル)のことです。

動物飼育室や動物実験室の入口にこの板を取り付けてねずみ等の動物が逃亡・侵入しないようにする仕掛けです。動物実験を行う施設ではねずみ返し等の設置が必要です。

従来のねずみ返しは、ねずみの逃亡・侵入を防ぐには効果的ですがそこを出入りする人間は跨いで通る必要があり、急いでいる時には足が取られて転倒することがよくあります。本学でもねずみ返しによる転倒で病院通いになる事故が起きましたので、新しいねずみ返しを考案して設置しました。その結果、同様の事故は起こらなくなりました。この新型のねずみ返しは昭和科学株式会社という会社で製造・販売され、全国の研究機関に普及しつつあるようです。

先月は東京の公立機関から私の方へ問い合わせがありました。その施設でもねずみ返しによる転倒事故が多いので、本学が考案したねずみ返しを導入を検討しているという由でした。本学発の新型ねずみ返しが少しでも社会に貢献していれば考案者としては本望です。

(文責：野崎教授)

